

令和2年（2020年）北海道森づくり研究成果発表会について

企業支援部 普及連携グループ 大西人史

森林研究本部（林業試験場・林産試験場）では、森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例をわかりやすく紹介し、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的とした研究成果発表会を、北海道水産林務部と共催で毎年開催しています。

本年は5月14日（木）に「令和2年北海道森づくり研究成果発表会」として、北海道立道民活動センター（かでの2・7、札幌市中央区北2条西7丁目）で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止することとしました。

しかし、研究発表の新たなスタイルを作ることで研究員の意識改革や新たなユーザーの掘り起こしにもつなげたいという思いから、発表の場をWeb上に移した「インターネット版 令和2年（2020年）北海道森づくり研究成果発表会」を開催することにしました。

開催方法は、ホームページに特設ページを設け、口頭発表スライド（林産試験場発表課題のみ）とポスターのPDFを掲載します。また、一般部門を含めた全ての口頭発表のスライドをFacebookに随時掲載し（写真）、コメント機能により、発表者と閲覧者との簡易な双方向性コミュニケーションを図ります。

公開期間は、林産試験場発表分の口頭発表スライドが令和2年6月1日（月）～6月30日（火）まで。それ以外は令和2年6月1日（月）～8月31日（月）までとなります。

ホームページとFacebookは相互にリンクされていますので、従来よりも多くの方々に閲覧して頂けると思います。従来の成果発表会に参加できなかった遠方の方々にもアプローチできることで、新たな研究ニーズ把握の効果も期待しています。

口頭発表課題は、一般部門では、北海道森林管理局から1件、北海道の総合振興局から3件の計4件となります。

森林研究本部部門では、林業試験場から6件、林産試験場から5件の計11件となり、次の3つのテーマに分けられています。

1. 「森林資源の循環利用のために（林業技術）」
2. 「森林資源の循環利用のために（木材利用技術）」

3. 「森の役割と森からの恵み」

さらに、森林研究本部長による「森林研究本部の研究概要」も掲載されます。

これらについて、Facebookのコメント欄で多くの質問や意見をお待ちしています。

ポスター発表課題は、一般部門では森林総合研究所北海道支所から1件、北海道水産林務部と総合振興局から2件の計3件、森林研究本部部門は、林業試験場7件、林産試験場10件の計17件をホームページへ掲載します。これらについては、メールでの質問や意見をお待ちしています。

本誌では今回掲載された課題のうち、林産試験場の課題を今月号から8月号まで3回に分けて特集します、こちらもぜひご一読ください。

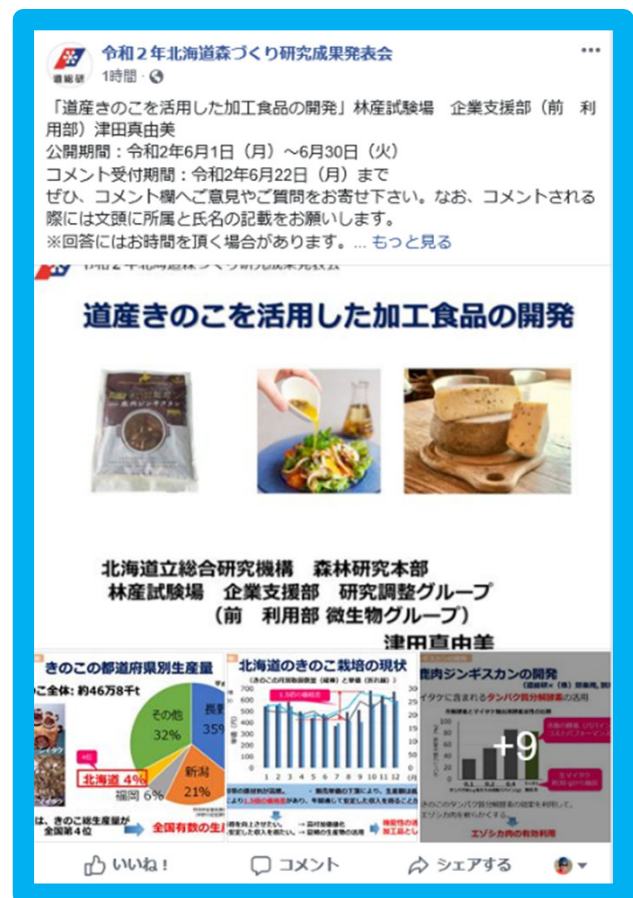


写真 Facebookのイメージ